

暗くても 光るタスキが 身を守る



最優秀賞 榛東村立南小学校6年 福田紗良



佳作 榛東村立南小学校4年 福田晃良



佳作 榛東村立北小学校 6年 加藤 椿



入選 榛東村立南小学校 1年 藤本彩希



榛東村交通安全会

会長 岩崎 誠

反射材の着用と

早めのライト点灯を

新年あけましておめでとうございます。村民皆様には輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

交通安全会では村民皆様が交通事故の当事者にならないよう、また村内において交通事故が発生しないように交通安全運動に取り組んでいます。

日常生活に欠かせない車、どこに出かけるにも便利な車ですが、交通事故により大切な命を失ったり大怪我をして将来を大きく変えてしまう事故が発生していることが毎日のように報道されています。

昨年の秋の県民交通安全運動にありましたが、日没が早い今日「夕暮れ時の早めのライト点灯と反射材の着用」はとても大切でありかなりの事故を防げと思います。歩行者は自分の存在を知らせるのに明るい服装と反射材の着用、運転者は早めのライト点灯を行い歩行者等をいち早く確認して事故の未然防止が必要です。交通事故は加害者・被害者双方に心と経済面に大きな負担が残り、その苦痛を背負っていかなくてはなりません。悲惨な交通事故が無く安心して安全な榛東村、暮らし易い榛東村になりますよう村民皆様のご協力をお願いします。

本年も村民皆様のご多幸な日々を過ごされますようご祈念申し上げます。



榑東村交通安全会
女性部長
岡本恵美子

交通安全の意識を 持ちましょう

新年明けましておめでとうござい
ます。

交通安全会をはじめ関係者皆様
には、平素よりご協力を賜り心より
感謝申し上げます。

私がかつて小学生の頃「未来の交
通」という題目の作文を書いた事を
先日ふと思い出しました。車も人も
行き先をインプットすると空中いつば
いに張り巡らされたエスカレーター
式道路が安全に目的地まで運んでく
れる。というようなものだったと記
憶しています。そこにはスピード違
反も、飲酒運転も、あおり運転もなく、
勿論交通事故も争い事も無い安全な
交通世界が広がっていました。

日頃、園児、学生の皆さんには、
交通安全教室や指人形、着ぐるみ
劇を通じて横断歩道の渡り方や自転
車の正しい乗り方等を身につけてい
ただいております。車やバイクを運
転される方も教習所で交通ルールを
学んできてはいるはずですが、まだエス
カレーター式道路もなく、自らの力
で移動する手段しかありません。学
んできた事をもう一度思い出し、交
通安全意識を持つ事で交通事故も減
るのではないかと思います。これか
ら安全な生活を目指していきま
しょう。



榑東村交通対策協議会
会長（榑東村長）
真塩 卓氏

交通安全活動に感謝

明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい新年をお
迎えのこととお喜び申し上げます。
昨年は、地震、台風、集中豪雨等
が相次いで発生し、非常に災害の多
い年でありましたが、今年が良い1
年となりますよう心からご祈念いた
します。

昨年、群馬県では交通事故件数が
一昨年から大きく増加したものの、
交通死亡事故の件数は63件と若干
減少しました。しかし、この63件の
うち10件が12月に集中しており、新
年を迎えても予断を許さない状況が
続いています。

このような県内の状況の中、本村
では交通事故発生件数は平成19年
の96件をピークに年々減少を続け、
昨年はその約半数の49件でした。ま
た、交通死亡事故は平成26年から5
年連続で0でした。これは、交通安
全活動に関わる全ての皆様が交通事
故の恐ろしさを呼びかけた努力の賜
であり、交通安全意識が村民に着実
に醸成されてきているものと思つて
おります。

日頃から、交通安全運動期間中の
街頭・店頭指導や夜間広報パトロー
ル、小中学校や幼稚園、保育園では、
着ぐるみ劇等で子ども達にわかりや

すく理解できるように交通安全教室
を実施していただきました。また、
しんとう・村づくり祭や村民伝大
会等では、交通整理・駐車場整理の
係員としてイベント参加者の交通安
全のためにご協力いただき、村が実
施する行事に於いてはならない存在
であり、交通安全会、交通指導員
をはじめとする交通関係役員の方々
に改めて敬意と感謝を申し上げます。

村といたしましても、交通安全会、
交通指導員、渋川警察署、渋川交
通安全協会等との連携をこれまで以
上に強化し、交通事故のない安心安
全な村づくりに取り組んでいきたい
と思っております。村民皆様のご支援、
ご協力をいただきますようお願い申
し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



渋川交通安全協会
事務局長
井上雅雄氏

歩行者優先

新年明けましておめでとうござい
ます。

皆様には、輝かしい新春をお迎え
のことと心からお慶び申し上げます。

平素から渋川交通安全協会の活動
等に深いご理解とご協力を賜り、心
から感謝申し上げます。
さて、昨年の渋川警察署管内の交

通事故発生状況は、死者数は、土0
でしたが、発生件数については、前
年比でマイナスとなり、本年も交通
事故ゼロをめざして減少傾向で推移
することを願っております。

ところで、日本自動車連盟（JAF）
の調査で信号機のない横断歩道での
横断者に対して停止する車両は1割
にも満たないという全国調査結果が
公表されてきました。

交通事故で「自転車と歩行者」事
故は、ひき逃げや死亡事故等の重大
事故に発展する可能性の高い形態で
あることを考えると憂慮すべき調査
結果であると思っております。

交通事故のない世界一、安全な交
通環境をめざしている日本としては
2020年東京オリンピック・パリリ
ンピック競技大会の開催を控え、歩
行者優先が定着している諸外国から
の訪日観光客の増加が見込まれ、横
断歩道上での安全確保に向けて警察
も今後、信号機のない横断歩道にお
ける歩行者優先等について、より一層
の広報啓発を行うとともに、その違
反者に対する指導・取締りを強化す
ることとします。

車両を運転される皆様は、ご承知
と思いますが、横断歩道等を通過す
る際は、前方を横断しようとする歩
行者等がいけないことが明らかな場合
以外、その横断歩道等の直前で停止
できるよう減速進行しなければなり
ません。

そして横断歩道等を横断し、また
は横断しようとする歩行者等がある
ときは、横断歩道等の手前で一時停
止し、かつ、その歩行者等の通行を
妨げてはならないことを再確認して
交通事故の防止をお願い致します。



渋川警察署
交通課長
肥留川篤氏

悲惨な交通事故の 撲滅を

新年あけましておめでとうござい
ます。本年もよろしくお願いたし
ます。

皆様には、平素から交通警察はも
とより、警察行政各般にわたり、多
大なるご支援、ご協力を賜り、心か
ら感謝を申し上げます。

さて、当署管内の交通事故発生状
況は、前年に比べ物件事故、人身事
故、負傷者数のいずれも減少するこ
とができましたが、交通死亡事故は
3件発生しております。

1件目は、8月13日に赤城町地内
で発生した軽四自動車の単独事故で
男性1人が亡くなり、2件目は、11
月23日に渋川地内の国道17号で大型
バイクと軽四自動車の衝突する事故
で1人が亡くなり、3件目は12月17
日に渋川地内の国道17号で大型貨物
自動車と車両4台が次々に衝突し、
1人が亡くなっております。いずれも、
「もう少し注意していれば防ぐこと
ができたのでは。」と思われる事故
であったことが悔やまれます。

警察では、交通事故の発生実態を
踏まえた上で、国民一人一人の交通
安全意識を醸成し、悲惨な交通事
故を防止するため、幼児から高齢者
までの各年齢層や歩行者、自転車利
用者、運転者の通行の態様等に応じ

交通安全教育及び交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を促す広報啓発等の交通安全活動を推進していますが、警察の力だけではおのずと限界があります。

「交通安全に対する意識の高さ」、そして「地域への密着度」から見ましても、交通安全会や交通指導員の方々は警察にとつて大切なパートナーであり、皆様の日々における献身的かつ地道な活動が、交通事故の減少につながると言っても過言ではありません。

被害者はもちろん、その家族の方や加害者の運命までも変えてしまう悲惨な交通事故を撲滅するために、今後も皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



中央子ども園
園長
飯塚久世氏

中央子ども園の 安全教育について

新年あけましておめでとうございます。
地域のみなさんには日ごろから子ども園の活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。

中央子ども園では子どもの発達に合わせた安全指導の必要性を認識し、家庭や地域の方々に協力をお願いして、計画的に指導を実施しております。また、食教育や日々の生活の中で命の大切さに触れ、全てのものに命があること、私たちは生かされていること、自分も人もかけがえない存在であることなど、体験を通して身に付くよう指導をしています。

具体的な指導としては、まず年2回開催

される交通安全教室があります。これは村の交通安全会の方々や渋川警察の方、榛東村駐在所長さん等が、交通ルールや日常のマナーなどをわかりやすく説明してくれるものです。人形劇あり、着ぐるみあり、パネルシアターありで、楽しみながら習得でき、毎回園児たちも楽しみにしております。

また中央子ども園では園庭の遊びだけにとらわれず、天気の良い日には園外保育や散歩に出かけるようにしています。積極的に地域の方と関わり、交流を深めようと心がけています。自然の中で四季の移り変わりを感じ取りながら、日常の生きた交通安全指導をし、現実には即した安全面の配慮を行っております。

子ども達が健やかに育ち、安全に生活できるよう保護者や地域の方にも呼びかけ、ともに保育活動を進めていきたいと考えています。今後ともどうぞご協力の程よろしくお願い致します。



榛東村交通指導隊長
青山孝宏氏

年度初めの交通安全

新年おめでとうございます。日ごろより交通安全の活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

私たち交通指導隊は、年間を通し日夜、活動しております。朝、交差点等での児童や学生、歩行者への安全確保、各学校での交通安全教室の実施、交通安全週間中のドライバーへの呼びかけ、夜間パトロールなど、さまざまな努力をしております。

年も明け、新年度になりますと環境も変わり、

ふとした不注意による事故も多く発生しがちになります。道路では新一年生、学生、特に小学一年生は初めての徒歩による通学、学生の自転車通学も多くあります。

自動車を運転時は、歩行者や自転車にも注意を払って安全運転を心がけてまいりたいと思います。

自転車の運転においても、交通ルールと、マ

交通事故のない榛東村を目指して

榛東駐在所 所長 山田浩隆氏

ナーを守って安全運転を心がけていただければと思います。

あおり運転や危険運転のニュースも、多くなっておりますが、ゆとりを持って、マナーある楽しい交通社会にしたいですね。

これからも、交通指導隊は、交通安全への取り組みを続けてまいります。



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

皆様には、平素から警察行政に対して、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、交通事故のない榛東村の実現に向け「1件でも交通事故をなくそう」という目標のもと、交通安全会の岩崎会長さん、岡本女性部長さんを中心に、交通安全会や交通指導隊、区長さんなど多くの方々に協力をいただき、幼稚園保育園における交通安全劇、小・中学校における交通安全教育、さらに、ショッピング作戦等の街頭活動などの地道な活動を通じて、皆様と共に交通安全に対する意識を盛り上げ活動を行ってまいりました。

我が榛東村では、平成26年以降、交通事故は発生していません。昨年（平成30年）の交通事故発生状況では、人身交通事故と物件交通事故を合わせた総量及び交通事故によって怪我をされた方も、一昨年（平成29年）とほぼ同様に推移しています。

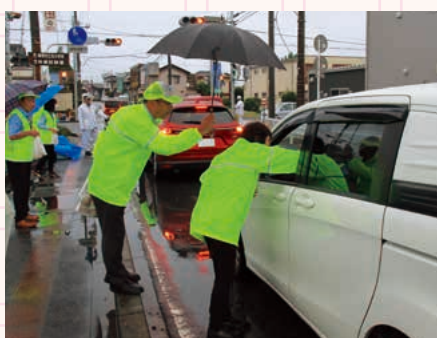
交通事故の発生原因では、安全不確認が最も多く全体の34割にあたり、少しの注意で事故を防ぐことができました。また、年齢別では、65歳以上の高齢者の方による交通事故が26割にあたり、時間帯別では、朝夕の通勤時間帯が多い傾向にあります。

交通事故を防止するには、歩行者、自転車利用者及び運転者それぞれが交通ルールやマナーを遵守していただき、特に、自動車などを運転される場合には、速度を抑え、交差点での安全確認と早めの合図、そして「譲り合いの気持ち」をお願いいたします。

本年も、地元の皆様とともに、地道に活動を積み上げ盛り上げてまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

一斉街頭指導

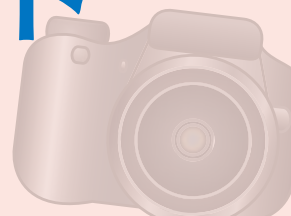
夏の県民交通安全運動期間及び秋の全国交通安全期間中、渋川警察署、榛東駐在所、榛東村交通指導員の皆さんと合同で山子田交差点において一斉街頭指導を行いました。



SHINTOMURA anzenkai

安全会活動 レポート

photo REPORT



ショッピング作戦

フレッシュ榛東新井店にて交通事故防止の啓発活動を実施しました。



高齢者交通安全講話 啓発品配布



新入学児親子交通安全教室

小学校入学前の幼稚園、保育園児に横断歩道歩行訓練、傘のさし方訓練を実施しました。



交通安全教室

中学校、小学校、幼稚園、保育園では、春と秋に生徒、児童、園児を対象とした交通安全教室を実施しました。



小学校では

大型車両による巻き込み実験、自転車、横断歩道歩行訓練を実施しました。

中学校では

自転車マナーアップを実施し、生徒に自転車の運転マナーの向上、交通事故防止を呼びかけました。



高齢者の交通安全について

このコーナーでは、高齢者の交通安全について、高齢者の方の意見や体験談を紹介いたします。



黒澤弘司さん
(7区)

安全な運転を続けるために

歳を重ね、運動能力や視力が低下し始めましたが、まだまだ車の運転は、生活していくために必要です。

車の前後に、シルバーマークを貼付し、高齢者であることをアピールしています。

車の性能がアップし、「踏み間違えても衝突回避を最優先にサポートしてくれる」、また「歩行者との衝突回避支援」等々、運転者のうっかりぼんやりの事故を防いでくれるサポート機能付き自動車を選びました。

高齢者のため、こちらが悪くないのに「爺さん気を付けな」と、言われないために、安全機能付きドライブレコーダーも設置しました。

人間は、間違いを起こす動物であることを認識し、悲惨な事故に

遭わないため、安全運転に集中し、一日でも長く安全に車を利用できればと願っています。



小山常一さん
(9区)

車の安全運転

最近あまり運転、高齢者逆走、アクセルとブレーキの踏み間違えなどが問題になっておりますが、大変恐ろしい事だと思います。

一昔前は南新井交差点付近で交通事故が、多く有りましたが、近年は少なくなりました。これもひとえに交通安全会の皆様方の御努力のお陰と感謝をして居ります。

近年高齢者の事故を、多く耳にするようになり、自分もその高齢者です。

今年も免許を更新して、車を運転していますが、車は日々の買物や病院への通院などに、こんなに便利な物はないと思います。

ですので、もう暫くは運転を続けようと思いますが、いずれ自分の運転に自信が持てなくなつた時には、すみやかに車の運転免許を返納しようと思います。

その時までは、交通ルールを守り安全運転を心掛けてまいります。



小池郁子さん
(18区)

交通安全会の皆様に感謝

交通安全、それは運転をする人の心にしみる言葉でなければなりません。若いころは、ちよつとした違反も大した事はないと、反省もありませんでした。でも今はそれは済まされません。この原稿を頼まれて改めて、自分の悪いところを見直してみました。私は、おつちよこちよいで、一時停止なども、かんたんに済ませていました。落ちついて、ゆつくりゆつくりを持つて運転していいことに気がつきました。運転席に座つたら、ゆつたりと一息ついて、ゆつくり出発しようと思えます。運転する人一人一人の自覚が大切です。それを私達に知らせてくれる交通安全会の皆様が一生涯安全運転を呼びかけてくれていきます。本当に感謝です。その事を頭に置いて、優しさと思いやりの気持ちを持つて安全運転をしていきたいと思えます。

交通安全会の皆様の地道な活動に対し、心から感謝申し上げます。

優良自動車運転者表彰を行いました

優良自動車運転者表彰は、自動車運転に関して、常に交通法令を遵守し、運転技能に優れ、かつ社会的責任を自覚した思いやりのある運転者を賞揚することで、模範運転を励行していただくとともに、他の運転者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に寄与することを目的として実施しています。平成30年において、春の交通安全総決起大会と秋の交通安全総ぐるみ大会で次の方々が優良自動車運転者表彰を受賞されました。長年にわたる安全運転の励行受賞に対し心から感謝とお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全運転をお願いします。

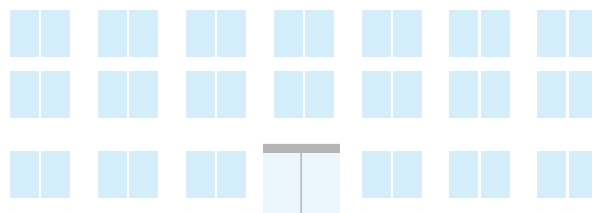
旭日金冠章 (40年以上 無事故・無違反)	岡部 あい(10区) 小山 亮子(14区)	小山 延雄(14区)
金冠金賞 (30年以上 無事故・無違反)	横川 正子(9区) 高田トシ子(4区) 萩原ミツエ(11区) 篠田 晴美(10区)	岩崎 桂子(10区) 齊藤 洋子(16区) 高橋 静江(7区)
金冠銀賞 (20年以上 無事故・無違反)	星野 米男(16区) 中沢 京子(3区)	中沢 孝一(3区) 狩野 宏記(12区)
金賞 (15年以上 無事故・無違反)	星野 孝代(16区)	桑原 榮子(1区)
銀賞 (10年以上 無事故・無違反)	小山 久利(9区)	
銅賞 (5年以上無事故・無違反)	樺澤 良子(4区)	中村 克久(21区)

毎月25日は
高齢者交通安全日です

学校



では



平成12年6月から本村の小学校に組織されている交通少年団。本コーナーでは2校それぞれの代表者から、活動を通じて感じたことや意見などを紹介するとともに、南小・渡邊校長からの寄稿を紹介します。



榛東村立南小学校
校長
渡邊 淳氏

「天国はもう秋ですか…」

交通事故は、もしあの時、左右確認をしていれば…、一時停止を怠らなかつたら…、事故は起きなかつたはず…と改めて思ってみてもすべては後の祭りです。

標題「天国はもう秋ですか」の続きには「おとうさん」が入ります。この句の作者は、小学5年生の男の子です。交通事故で父親を亡くしています。何とも胸を打たれます。

このような思いを榛東の子どもたちにも、また親御さんにもさせたくありません。朝、各ご家庭を元氣よく「行ってきます。」の声で出かけた子どもたちが「ただいまあ。」「お帰り！」の声で迎えられる毎日でありますように、学校では交通安全を最優先に指導を徹底、継続していきます。

村の交通安全会の皆様をはじめ、地域の皆様方には、子どもたちの登下校の安全確保にご支援・ご協力をいただき大変感謝しております。

す。今後は是非お力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。



榛東村立南小学校6年
交通少年団長
福田紗良さん

交通少年団長になって

私は、交通少年団長になってどうすればいいのかなど色々考えました。例えば、横断歩道の歩き方や交通ルールについてです。

榛東村では、事故を見かけたことがあまりありませんでした。だからそんなに交通安全について考えていませんでした。でも、交通安全の看板を見たりすると「事故が起きたら、起こしたら…」などと考えると、事故を起さないと考えてしまいます。事故を起さないために自転車に乗る時は角で止まる、ヘルメットは絶対忘れないことや、自転車でも歩いていても左右の確認を忘れないことなど、一人一人が気をつけることを知り、守っていく事がとても大切だと思います。

また、自転車の点検や左右の確認、ヘルメットをつけることが面倒くさいと思う人もいます。けれども、自分の命を守るため、他人の命を終わらせないためにしっかりと守って生活していくようみんなに働きかけていきたいです。



榛東村立北小学校6年
交通少年団長
工藤 遥さん

交通安全教室を受けて

私は、今まで交通ルールを当たり前のように行っていました。道路には沢山の危険があることを知りました。交通安全教室では、横断歩道を渡る時は信号が赤から青に変わったら左右を確認して渡る、道路は飛び出さない、自転車を乗る時はヘルメットをかぶって乗るなど私達が毎日守っている交通ルールがありました。この交通ルールを守らなければ交通事故にあつて命を落としてしまうかも知れません。私は毎朝、交通事故の

ニュースを聞くたびに心が痛みます。事故に巻き込まれる人も事故を起こしてしまう人も、交通事故は誰もが起したくないはず。私は、一人でも多くの人が交通事故に遭わないように交通ルールを守るように呼びかけたいです。そして、「自分の命は自分で守る」ということを伝えたいです。



交通安全会理事の 皆さんからの投稿です



4区理事
齋藤 圭司

早めの出発と余裕な気持ちで

新年明けましておめでとうございます。

私は永く交通安全理事に携わり、昨年度から本部役員に任命されました。初めて小学校の交通安全教室に参加した所、幼少期からの安全教室はとても大事だと感じました。

私は自動車、二輪車、自転車に乗る事があります。自転車を含め車両の大小に関係無く交通ルールは全て同一です。

又、徒歩30分位歩く時があります。道路を歩いてみると車がとて怖く感じます。車の音が聞こえたら車両の動向を見てから一旦立ち止まり、待避したりして安全が確認出来たらまた歩き出します。夜間時は反射材のタスキを掛け自分の存在を分かる様にしています。また、通勤する際は実質の通勤時間+会社到着後の余裕時間を合計すると家の出発時間が決まります。余裕時間が少ないと気持ちと時間の余裕が無く無理な運転をしてみいがちです。家を早めに出発し安全運転を心掛けるようになりました。



8区理事
浅見 弘之

交通事故ゼロ 安全・安心な榛東村に

明けましておめでとうございます。

交通安全会の理事を拝命してから、交通に関する情報に対し、今まで以上に関心を持つようになりました。その中で最近注目した事柄として、群馬県は県内で起こる自転車事故に占める中学生の事故の割合が全国ワースト上位、高校生に於いてはワースト1位であるという不名誉な内容でした。群馬県は公共交通機関が未発達であり、特に高校生は町村部から都市部への長距離通学を強いられていることが大きな原因とこのことです。対策として中学生と同様に高校生のヘルメット着用義務化も検討されています。

また、この榛東村は地形的な面から坂道が多く通学途中の中・高校生は下り坂では、かなりのスピードで走行している姿が見受けられます。この様な環境の中で、若年層の事故を榛東村から無くするためには、自転車もきちんと一時停止する、スピードは出し過ぎない等の基本的な交通ルールの教育を幼少期の頃から家庭や学校で徹底し確実に身に付けてもらうことが大切な事だと思います。

若年層から高齢者まで全村民が交通事故無く安心して暮らせる榛東村にするために、村民皆様方の

ご協力をよろしくお願い致します。



7区理事
高橋 静江

交通安全の『意識改革』を

新年明けましておめでとうございます。

交通安全理事としての活動も4年が経とうとしています。主な活動として、幼稚園・保育園での指人形や着ぐるみでの交通安全教室から、小学校および中学校でのマナーアップ運動と各年代に合わせた啓発運動を行っています。また、夜間パトロールや街頭指導およびさまざまなイベントでの交通整理等に携わってきました。

子どもたちの交通安全教室での真剣な姿勢や私自身運転中に遭遇する横断歩道でのお礼の挨拶を見かけるとき、ほっとして心が穏やかになります。このような些細なことが一般ドライバーの安全運転意識の向上にも繋がると思っています。

近頃のニュース等で大きな問題となっている『あおり運転』や『酒酔い運転』などの悪質な運転による重大事故が後を絶たない交通環境ですが、一人ひとりが心と時間に『少しのゆとり』を持つて歩行者や他の車への『思いやり』を意識することで大きく改善されることと信じています。

これからも交通安全会の一員として、子ども達や自動車を運転す

る大人の意識改革の手助けができるよう努めていきたいと思えます。



15区理事
板橋 一江

「交通事故0」の村を目指して

新年明けましておめでとうございます。

交通安全会の活動に参加して、4年目を迎えました。この間、我が家では6件の交通事故を経験しました。振り返ってみると全てが加害者(運転手)側の「うっかり」が原因であり、注意を怠らなければ避けられた事故でした。

安全会では毎年、村内の幼稚園、小中学校で様々な形の「交通安全教室」を行っています。子どもたちは皆、真剣に耳を傾け「自分の命を自ら守る」意識を高めます。

一方で運転手や高齢者に向けた交通安全の啓発運動に参加出来る方は限られているのが現状のように思えます。

榛東村交通安全会では「交通事故0」を目指し数多くの活動も行っておりますが、参加が難しくても日頃から少し交通安全の意識を持つて運転するだけで避けられる事故は増えてくると思います。

榛東村から交通事故で辛い思いをする方が一人でも減りますよう、心から願っています。



16区理事
小川 ゆかり

「慣れた道こそ、注意を」

新年明けましておめでとうございます。

最近「あおり運転」が話題になっています。

実は数年前に榛東村の慣れた道で怖い経験をしました。子どもを送迎中夜8時過ぎに法定速度内で走行中に追越し禁止道路なのに追越しをされて一瞬危険を感じました。追越した車を気にせず前方が見えにくいため、100m先まで見えるハイビームにして走行していたら、その車が急停止をしドライバーの人が降りてきて、私の車の窓ガラスを叩き大声で怒鳴り始め、驚き慌てて110番通報しました。「車にロックをかけて降りない」「相手が立ち去るまで電話をしない」と的確なアドバイスをし続けて頂き何事もなかったのです。

その時事故になっていたら自分そして家族が加害者側・被害者側のどちらかになって耐え難い苦痛を体験していたかもしれせん。

平成30年交通安全年間スローガンにある「ハイビーム 上手に使用して 事故防止」を改めて見て反省をしました。交通安全会を立てた看板にある「思いやり」「譲り合い」「事故の無い」群馬県一住みやすい村になるように交通安全の職務に対して尽力していきたいと思えます。